



佐世保市立吉井北小学校

所在地：佐世保市吉井町直谷 1030 番地

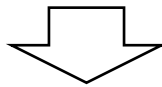
校 長：堤 祐子

児童数：80名 学級数：8学級

(令和2年5月1日現在)

学校教育目標

「夢に向かって自ら学び、豊かな心と強い体をはぐくむ児童を育てる」



テーマ

学校教育目標の具現化のため、「よく考える子」「しんせつな子」

「きたえる子」の育成を図りながら特色ある学校づくりを展開する。

学力向上



夢いっぱい



俳句

いっぱい



しいのき学習

(福祉・歴史・郷土)



交流学習



1 学力向上の取組

チャレンジタイム

火曜日の朝15分間は「チャレンジタイム」として、主に算数の基本的な問題や活用問題に挑戦しています。平成28年度から、地域の方3名に「丸付け先生」としてご指導いただいています。

子どもたちは集中して取り組み、個人の学力、進み具合に応じて丸付け先生に支えていただくことで学力を向上させていきます。



学力調査

12月に全校の子どもたちが国語と算数の学力調査に挑戦しました。各自の学力を確かめる貴重な時間です。調査の結果は子どもたちと保護者の皆様へ伝え、一人一人の学び方を見直す取組にしています。

自主学習で苦手な教科や得意な教科を選んで学習内容をノートにまとめる子どもが増えるなど、さらに意欲的に学習に取り組む姿が見られるようになっています。

長崎大学との連携による外国語学習

外国語の授業を、長崎大学の廣江教授とサイ先生に支援していただいています。子どもたちは、サイ先生との会話を通して生の英語を体感しています。また、教師にとっては指導法を学ぶ機会ともなっています。

2 夢いっぱい活動

講師として様々な方に来校していただきました。



囲碁の先生

今の子どもたちや親世代は囲碁ができる人が少ないようです。地域に住む名人に教えていただきました。やってみると、奥が深く、子どもはゲーム機とは違う楽しみを感じました。名人との勝負を通して、尊敬の念を抱きました。



絵付けの先生

三川内焼は佐世保を代表する伝統工芸です。その伝統的な技術を実感した体験活動となりました。各自で考えたものを皿に描きました。モノづくりの魅力を堪能すると共に佐世保の文化に触れた学習となりました。



科学の先生

長崎大学の教授をお招きして、様々な科学実験を見せていただいたり、子どもたち自身に実験をさせていただいたりしました。目の前で起こる不思議なことに「なぜ」という疑問をもち、好奇心を掻き立てられ科学の不思議に引き込まれていきました。

人権集会

全校で実施した人権集会には、人権擁護委員の方13名を招き、劇などを通して子どもたちがわかりやすく学べる機会をつくっていただきました。低学年の子どもたちもしっかり考え、学びを深めました。



読み聞かせ

月曜日の朝15分間は読書の時間です。その中で月1回程度、「読み聞かせ」の時間としています。地域の方や保護者の方が読み手になり、低、中、高学年に分かれて、学年に合わせた本を選んで読んでくださいます。子どもたちは、すぐ、本の世界に引き込まれ、読書への関心を高めています。

3 俳句いっぱい活動

「俳句の時間」を設定し、子どもたちが春夏秋冬の季節を感じながら句作り、感性を磨いています。美しい日本語に関心をもち、自分なりの表現力を身に付けていきます。校内には俳句専用の掲示板を設けています。

俳句の先生にご指導いただき、教職員も学びながら秀作を選んでいきます。選ばれた子どもたちは自信につながっています。年度末には「お気に入りの句」などを掲載した俳句集「内裏の旗」を発行しています。また、卒業式では卒業生一人一人が自分の俳句を発表するなど、俳句文化が本校には根付いています。



＜俳句専用の掲示板＞ ＜今年度内裏の旗＞

4 交流学習

1・2年生の子どもたちが、佐世保独楽、竹馬、お手玉など、昔遊びを教してもらいながら、地域の民生委員の方々と交流しました。子どもたちにとって、初めてのチャレンジでもありましたが、できるようになったときには満面の笑みを浮かべ喜んでいました。貴重な体験となりました。



今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流学習は難しいものでした。一部、感染状況をみて、対策をしっかりととりながら実施しましたが、例年に比べると少ない交流でした。

5 しいのき学習 総合的な学習の時間

3年生「ふるさとを見つめよう ふるさと発見学習」

3年生は、地域の歴史家エコツーリズム代表和田隆氏の指導を受け、学校近くの直谷城址や直谷城主の墓石塔群を見学し、体験に基づいた総合的な学習を進めました。自分たちの住む身近なところにある史跡に驚き、ふるさとを見つめ直し、ふるさとを愛する気持ちを高めることができました。



4年生「平和学習」

4年生は、平和をテーマに学習し、毎年長崎市へ平和学習に出かけていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響を受け、見学は断念しました。しかし、自分たちで資料も用いて調べ、新聞によるまとめ活動を通して発信しました。

5年生「福祉について考えよう」

5年生は、福祉について考えました。10月には、吉井地区包括支援センターの方を招いて話を聞き、更に佐世保市福祉活動プラザの方の支援と指導を受け高齢者や障がい者の疑似体験に取り組みました。子どもたちは、高齢者や障がい者の気持ちを実感し、視野を広げ、福祉に関する理解を深める機会となりました。



6年生「佐世保市や吉井町の歴史や文化を調べよう」

6年生は、教育委員会文化財課及び文化財保護団体のご支援とご指導を受けながら、世界に誇る地域の国指定史跡「福井洞窟」について学習しました。この史跡を大切に引き継ぎ、多くの人に知ってもらうため、地域に建設されている福井洞窟ガイダンス施設の看板を作成しました。このような活動を通して、子どもたちは、夢と歴史のロマンをもつとともに、ふるさとへの誇りを高めることができました。

